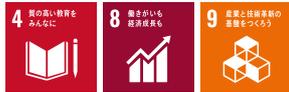


要請番号 (JL01826A15)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タイ	G157 日本語教育		個別	交替 2代目	2年	・2026/3・2027/1・ 2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

高等教育科学研究イノベーション省

2) 配属機関名 (日本語)

ペッチャブーン・ラチャパット大学

3) 任地 (ペッチャブーン県ムアンペッチャブーン郡) JICA事務所の所在地 (バンコク都)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+バスで約 6.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

大学は1936年に教育大学として設立、2004年に総合大学となった。現在は、教育学部、人文社会科学部等の5つの学部がある。職員数約650名、学生数約4,000名。日本語科目は2002年に開講。人文社会科学部にて一般教養科目として基礎を学ぶ日本語コミュニケーションクラス、外国語学科にてビジネス日本語クラスを開講。大学年間予算約1200万ドルのうち、約3000ドルはアカデミックサービスとして近隣校や公的機関等への日本語・文化紹介の活動予算。2026年1月まで初代日本語教育隊員が活動。KOICAや中国人ボランティアの派遣実績あり。 [配属機関HP](#)

【要請概要】

1) 要請理由・背景

任地にはほとんど日本人がおらず、学生が生活で日本語に触れる機会はほぼない。ビジネス日本語のクラスでもビジネス現場を想定したシミュレーション等により、実践に役立つ授業を目指しているものの機会はごく限られている。そのため、配属先は隊員派遣により学生の日本語や日本文化に触れる機会を増やし、日本語能力向上につなげたいとしている。地域へのアカデミックサービスの提供により、日本に興味を持つ生徒を増やすことも期待されている。初代隊員は授業以外に地域へのアカデミックサービスの提供やオンライン教材制作等に取り組んだ。今後はこれらの活動の継続・発展、隊員との協働を通じた教員の日本語教授能力の向上が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 日本語の授業を実施する。(主に隊員が単独で実施、合計12時間程度を想定)
- 行事等の機会を活用し、日本語学習の機会や日本文化紹介を企画・立案し、実施する。
- 日本語学習の掲示物や教材作成等、学習環境を整備する。
- 近隣の中学校、高校や公的機関等に対して行うアカデミックサービス(日本語・日本文化紹介、等)を企画・立案し、実施する。
- (配属先の業務に支障がない範囲で、可能であれば、)地域の日本語教育関係者等と緩やかに連携し、情報共有等の協力活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、プリンター、プロジェクター、教材(Webサイト利用、NHKなど)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

日本語担当1名(女性、日本語教授歴10年以上、日本語能力試験なし、日本留学経験あり)、国際関係担当職員1名(女性)

活動対象者:
日本語授業を選択する大学生:約200名(多様な学部)、地域住民(中学校や高校の生徒、等)

5) 活動使用言語

タイ語

6) 生活使用言語

タイ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)又はタイ語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (日本語教育に関する資格が必須)

[学歴]: (大卒) 備考: 大卒以上の同僚と協働するため

[性別]: () 備考:

[経験]: (実務経験) 2年以上 備考: 授業等の計画立案
をするため

[参考情報]:

- ・社会人経験8年以上が望ましい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (14~39°C位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

タイ語習得は必須。一部の配属先職員とは英語でコミュニケーションが可能。2学期制(6月-10月、11月-3月)。隊員入居予定の職員寮はキッチンや洗濯機、温水シャワーはない。平日昼は学食利用可能。生鮮食品は約5km離れた町で購入可能。

【類似職種】